

ブプロフェジン水和剤 アプロード水和剤	取扱メーカー： 日農，琉産 原体メーカー： 日農
成分： ブプロフェジン〔IGR（脱皮阻害剤）PRTR・1種〕…25.0%	性状： 類白色水和性粉末45μm以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

- カメムシ目の一部の害虫であるウンカ類，ヨコバイ類，ヒメヨコバイ類，カイガラムシ類，コナジラミ類に特異的に高い効果を示す。
- 殺幼虫力が強く，持続性も2～3週間と長い。
- 蚕，ミツバチに影響が極めて少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 成虫を直接殺す作用がないので，幼虫主体の時期に散布するのが望ましい。又，その場合，薬剤散布後も幼虫は直ちに死亡せず，死亡までに3～7日を要するので十分留意する。
- 成虫の防除を必要とする場合には，成虫に有効な薬剤と組み合わせて使用する。
- 散布適期は，本剤の性質から害虫発生初期の比較的低密度の時期であり多発時の散布は直ちに密度を低下させることができないので，その場合は速効性のある薬剤と組み合わせて使用する。
- 本田の水稲に対して希釈倍数300倍で散布する場合は，所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。

【薬効・薬害等の注意】

- かき及びなしに使用する場合は施設栽培での散布は薬害を生じるおそれがあるのでさける。
- すだちのミカンネコナカイガラムシ防除に使用する場合は，本種が寄生する土壤中の細根部にしっかり薬液が行き渡るように樹冠下の地面に灌注するのが効果的。
- 適用作物（かき）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（はくさい，かぶ）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8，適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】

- 眼に対して刺激性がある。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	プロフェジンを含 む農薬の総使用回数
み か ん	カイガラムシ類幼虫	1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ミカントゲコナジラミ若齢幼虫	1000倍					
す だ ち	カイガラムシ類幼虫	1000～ 1500倍	5 ℓ /m ²	45日前まで	3回以内	土壌 灌注	3回以内
	ミカントゲコナジラミ若齢幼虫	1000倍					
かんきつ (みかん、 すだちを除く)	カイガラムシ類幼虫	1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	30日前まで	2回以内		2回以内
	ミカントゲコナジラミ若齢幼虫						
な し	カイガラムシ類幼虫	1000倍	200～ 700 ℓ	開花期まで 但し、収穫 45日前まで	2回以内	散布	2回以内
も も				収穫後～ 落葉前			
か き				14日前まで			
う め				7日前まで			
す も も び わ				前日まで			
く り				3日前まで	1回		
キウイフルーツ	カイガラムシ類幼虫 キウイヒメヨコバイ						
さんしょう (果実)	カイガラムシ類幼虫						
稲	ツマグロヨコバイ幼虫 ウンカ類幼虫	1000～ 2000倍	60～ 150 ℓ	7日前まで	4回以内		4回以内 (小包装投入 は1回以内)
		300倍	25 ℓ				
小 麦	ヒメトビウンカ幼虫	1000～ 2000倍	60～ 150 ℓ		3回以内	散布	3回以内
きゅうり	オンシツコナジラミ幼虫						
ト マ ト	タバココナジラミ類幼虫 (シルバーリーフコナジラミ幼虫を含む)	1000倍	100～ 300 ℓ	前日まで	3回以内		3回以内
な す	オンシツコナジラミ幼虫	1000～ 2000倍		21日前まで			
	ふ き	タバココナジラミ類幼虫 (シルバーリーフコナジラミ幼虫を含む)					
茶	クワシロカイガラムシ若齢幼虫		1000 ℓ	摘採 14日前まで	2回以内		2回以内
	チャノミドリヒメヨコバイ幼虫 チャトゲコナジラミ		200～ 400 ℓ				
た ば こ	オンシツコナジラミ幼虫	2000倍	25～ 180 ℓ		4回以内		4回以内
桑	ヒシモンヨコバイ幼虫 ハゴロモ類幼虫	1000倍	200～ 700 ℓ				
ポインセチア	オンシツコナジラミ幼虫	1000～ 2000倍	100～ 300 ℓ	発生初期	6回以内		6回以内
	タバココナジラミ類幼虫 (シルバーリーフコナジラミ幼虫を含む)	1000倍					
ガーベラ	オンシツコナジラミ幼虫						